

山行報告

★ 裏六甲縦走～有馬三山を歩く (10/21 日曜日)

河合

秋の爽やかな山日和です。暫く山歩きから離れていた
ので、このコースに不安を感じながらの参加です。六甲
ケーブル山麓駅で時間待ちをしていると、バスを使わず
一時間ほどかけて歩いてこられた人たちがあり、意気込
みが違います。

山本リーダーのもと 18 人編成です。(男 10 人と女 8 人)

9:30 出発 ストレッチをして六甲ケーブル下駅の横か
ら油こぶし登山道を山頂に向かう。周りの雑木林は木洩
れ日がさし、葉の緑がきれいです。春には油こぶしの花
が咲くようですが、この季節は赤い水引草が陰地に自生
していてひんやりします。延々と続く登りでしたが冷たい風が汗ばんだ体を包み元気づけられまし
た。ケーブルで 10 分ですが、90 分弱かかって黙々
と登っていると山頂駅に着く。あいにく神戸の眺
望はかすんでいます。

11:05 山頂駅出発 ゴルフ場付近では、沢山の紫
陽花が未完成のドライフラワーで残っていました。
芝生を横目に進むと 30 分で凌雲台に出ました。
秋を求めた行楽客で賑わっています。今年の紅葉
はかなり遅くなりそうで、六甲山脈はほとんど緑
一色と言えそうです。

12:00 極楽茶屋跡着 他のパーティと一緒に日向に座
りこんでの昼食はとても気持が良く、周はススキが戯れ
ここは秋の社交場です。頂いた自家採りみかんの美味し
いこと！

30 分の休憩後、いよいよ裏六甲縦走路に向かう。右が
紅葉谷、左が番匠屋畑尾根の分岐点を確認して左に進む。
周囲の雑木林は落ち着いた静かな雰囲気、涼しい尾根
歩きですが、丸太の階段が延々と続き私のコンパスには
かなり堪えます。眺望もまったくありません。

場所	着	発
阪急六甲	8:00	8:10
六甲ケーブル下	8:26	9:30
ケーブル山上駅	10:55	11:05
極楽茶屋跡	12:00	12:30
湯槽谷山	13:35	13:40
灰形山	14:20	14:30
落葉山	14:45	15:00
有馬温泉	15:30	



13：30 油槽谷山着（801m） 標識が無くなったのか、休憩した場所が山頂らしい。キノコと柴栗をビニール袋一杯に収穫した男性に会う。“山のお土産”があるコースなのだ。途中で松茸の強い香りがしたので、後の人に声を掛け香りを嗅ぎながら歩きました。

・・・きつとあったのでは・・・

14：15 灰形山着（619m） 集合写真を撮る。後方の樹木の間に油槽谷山が高く見えた。このあたりには少し紅葉しかけた木々が見られる。右に温泉街が視界に入る。やせ尾根が続く“注意”の標識あり、気を引き締める。

14：40 落葉山着（526m） 妙見大菩薩の前で集合写真に納まる。高野箒の花が迎える山道を少し後戻りして有馬温泉街に出る。ストレッチをして解散になる。

有馬三山はきつい登り、落ちるような下り、また登っての繰り返しです。標高は低いがアップダウンが凄い臆脚者コースでした。でも温泉が疲れた体を癒してくれました。

山歩きはいっぱい幸せを運びます。リーダーはじめ、皆さんに感謝。

★ 塩屋・高取《須磨アルプス》に参加して（10／28 日曜日）

中嶋

秋とはいえまだまだ暖かい日が続く晴天の一日、体調もベストではないがまずまずの感じで今回の山行に参加しました。

山電・塩屋駅前に9時集合、駅前は狭いため、10分ほど歩いた墓地でストレッチ体操をした後、参加者18名は舩賀さんを先頭に登山道を登りはじめた。このコースは六甲縦走の起点であり、山道も道標もよく完備されている。和気あいあいと話をしながら登る。30分ほどで旗振山（235m）に着きトイレ休憩を取る。《この山は、昔大阪から備前の米相場の中継地であつたが、今は電波の中継点になっている。》展望が

ひらけ、神戸市街、大阪湾、淡路島、明石海峡大橋が良く見えた。緩やかな林間の山道を行くと鉄拐山（234m）があり、しばらく行くと高倉台住宅地への下りとなる。会館前で休憩する。高速道の歩道橋を渡ると梶尾山（274m）の頂上に続く340段ほどの長い階段があり一気に登る。所々の階段途中のベンチでハイカーが休憩していた。上がりきると山道となり梶尾山頂上に、続いて10分ほどで横尾山（312m）に着く。道中、時々追い抜こうとするハイカーを知らせる利弘さんの“お一人様ご案内”のユーモアのある言い方が笑いを誘う。少し行くと須磨アルプスの荒々しい岩場の風景が見えてきた。短い区間ですが両側が崖となり、花崗岩の風化した岩肌の中を鎖とロープで支えながら注意して下り、梯子を注意して上がる。馬の背と呼ばれる尾根を歩く、狭いせいで人がつかえて来た。東山の岩場で写真を撮り、頂上で休憩する。

11時45分妙法寺を目指して下る。大きなプラスチックの筒の様な地下鉄西神線の下を潜ると妙法寺に到着した。45分間休憩昼食を取る。私も料理講習会やオカリナ教室の話を聞きながら弁当を食べた。

13：00高取山に向かって出発。しばらく町中を歩くと登山道にでる。ここまで来ると他の登山者も少なくなった。45分程急な登りが続いて高取山（319.9m）の三角点のある高取神社奥の

場所	着	発
塩屋		8:58
旗振山	9:45	9:53
高倉台2丁目	10:30	10:35
馬の背	11:35	
東山	11:45	11:50
妙法寺	12:20	13:00
高取山頂上	13:45	13:55
山電板宿駅	14:55	



宮熊取神社に到着した。15分間休憩、ここからはポートアイランド、神戸空港が良く見え、丁度、離陸する飛行機が見えた。

14:00神社を出発、緩やかな石段を早足で下る。板宿の町中や商店街を通り抜け、全員無事山電板宿駅に着き、14:50ここで解散した。先週に続き今回も六甲山系に来たが、近場で変化に富み奥行きのある愛すべきいい山系だなと感じました。楽しい山行を有難うございました。

★ 播磨地区交流ハイキングに参加して (11/4日 日曜日)

A コース

田中

穏やかな秋晴れの絶好のハイキング日和である。9時45分 JR 小野町駅に集合、参加者(34名)を確認後、駅横の広場でストレッチをして参加した会毎に順次出発する。NTTの中継所までは一般車乗入禁止の広い工事用道路。中継所で小休止のあと山道に入る。前山135.8m、愛宕山154.2m、安場山156.6mとそんなに高い山ではないが、登っては下りの繰り返しで急登である。しかし道沿いにはリンドウ、センブリ、ノジギク風、ツツジその他白い花や黄色い花が咲いていて美しい。(花の名前はよく知らないので適当)アザメ峠(ここまでは東コース)を経て西コースに入る。総山168.4mを超えて12時前にアンテナ山

171.6mに到着。ここで昼食をとる。汗をかいた身体には風が気持ちよい。眼下には山陽自動車道が走り、天気がよいので遠くまで見える。また後ろには小野の市街地が見渡せる。12時20分出発。惣山を経て合流地点へ向かう。途中左手に小野富士の急な岩場が見える。

(この岩場は昨年7月山行に来たとき這いつくばって登った思い出のところである。) 13時過ぎ鴨池キャンプ場に到着しゴミの計量。(ゴミは山にはほとんどなく山を降りてからのものであった)

Bコースと合流し交流集会が開かれる。県連盟理事長の挨拶、自然保護担当理事の報告の後、今回参加した明石山の会、HCはりま、高御位山遊会、姫路山の会の順に会の活動状況を紹介し、全員で集合写真を撮って終わる。

ポイント	着	発
J R 小野町	9:50	
N T T 中継所	10:20	10:30
安場山	10:45	10:50
総山	11:30	
アンテナ山	11:45	12:20
惣山	12:30	
鴨池キャンプ場	13:25	
集会		
解散	14:00	



Bコース

三木

当日、午前8時50分自宅出発、途中コンビニで昼食等調達、現地9時20分到着する。

天気晴天、空にはうろこ雲が浮かび正に秋の空である。この間までのあの異常な暑さは何処へいったのか。

10時、B班集合ストレッチ始める。総勢60名(A、B班共で)とのこと

10時10分出発する。清掃ハイキングなど初めてのことで道中、拾ったごみは大半がたばこの吸殻であとはペットボトル、空き缶等である。

これだけ、たばこの吸殻が多いということは喫煙者のマナーを疑いたくなる。

10時40分、紅山の山頂を目指し登山道に入る。

結構急な道である、休憩をはさみ11時40分山頂到着12時10分まで昼食となる。

山頂からの眺めは絶景であった、はるか南に瀬戸内海、そこへそそぐ加古川、遠くに淡路島また六甲山系、播州の山々あり、海あり、川ありで気候は温暖、この播州地区は本当に良いところと思った。

12時50分下山しごみの計量、缶3Kg、瓶4Kg、ペットボトル1Kg、燃えるごみ5Kgであった。

ごみの計量後、明石山の会はじめ、高御位山遊会、HCはりま他参加会の活動紹介行われる。

各会の発表より、どの会も結構、活発に活動されているようだ。

山を趣味とする人たちが集いゴミ拾い等行って活動状況をきくことは有意義である。

播磨アルプス(高御位)、小野アルプス、須磨アルプス、加西アルプス(善防山、笠松山)みんな近くでよい山です。また、登りたいものです。

場 所	着	発	メ モ
鴨池駐車場 ↓	9:55		集会
	10:05		ストレッチ
		10:10	
登山口	10:35		
岩間	11:00	11:10	休憩
紅山	11:40	12:10	昼食
鴨池駐車場 ↓	12:50		
	13:20	14:00	全体集会

